

平成24年2月23日
国港技第132号

国際戦略港湾
国際拠点港湾
重要港湾 港湾管理者 あて

港湾局技術企画課長

港湾における重大事故の防止について（注意喚起）

去る2月7日、岡山県水島港の製油工場海底トンネル工事において、作業員5名が行方不明（うち3名を遺体で発見：本文書発出日現在）となる事故が発生しました（下記参照）。

本工事は、民間企業が港湾管理者の水域占用許可を得て、自社施設の設置のため行っていた工事です。現在、残る行方不明者を捜索中、事故原因も調査中の段階ではありますが、人命に関わる重大な事故であり、また港湾機能として重要な航路下を横断して設置する施設の工事で発生したものであることに鑑みて、改めて、工事関係者の安全意識を高め、影響が重大な類似工事における事業者や工事実施者の自主的な点検を促す等、再発・類似事故防止のための注意喚起を港湾管理者あてに行うこととしました。

今回民間施設の設置工事においてこのような事故が発生したことを踏まえ、今後の重大工事事故の防止に最大限のご配慮をお願いします。

なお、事故原因が明確となっていない現段階であり、技術的な助言等が必要でしたら、担当の地方整備局、或いは当局にお問い合わせ下さい。

また、今後明らかとなる事故原因を踏まえた対策については、別途必要に応じて検討し、連絡します。

記

- 発生日時：平成24年2月7日(火) 12:35
- 発生場所：倉敷市水島海岸通4丁目の地下から同市潮通1丁目の地下まで掘削中の海底トンネル内（水島航路近傍の水深約12mの海底面下）
- 実施主体：JX日鉱日石エネルギー株式会社水島工場（受注者：鹿島建設株式会社）
- 工事概要：同社の水島A地区とB地区を連絡する海底トンネル（連絡配管用）立坑；高さ約34m、径約11m、海底トンネル：全長約790m、径約4.5m）の掘削（海底トンネルは水島航路（-16m）下を横断）。
- 事故概要：シールド工法により海底トンネルを掘削中、立坑から150m程度掘り進んだ地点で突如海水が流入し、トンネル及び立坑が水没。工事作業員5名が行方不明（うち3名を遺体で発見）。

以上